

まるごとひふみ

まるごとひふみ15 追加型投信/内外/資産複合

まるごとひふみ50 追加型投信/内外/資産複合

まるごとひふみ100 追加型投信/内外/株式

2021年12月度 月次運用レポート

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



まるごとひふみ

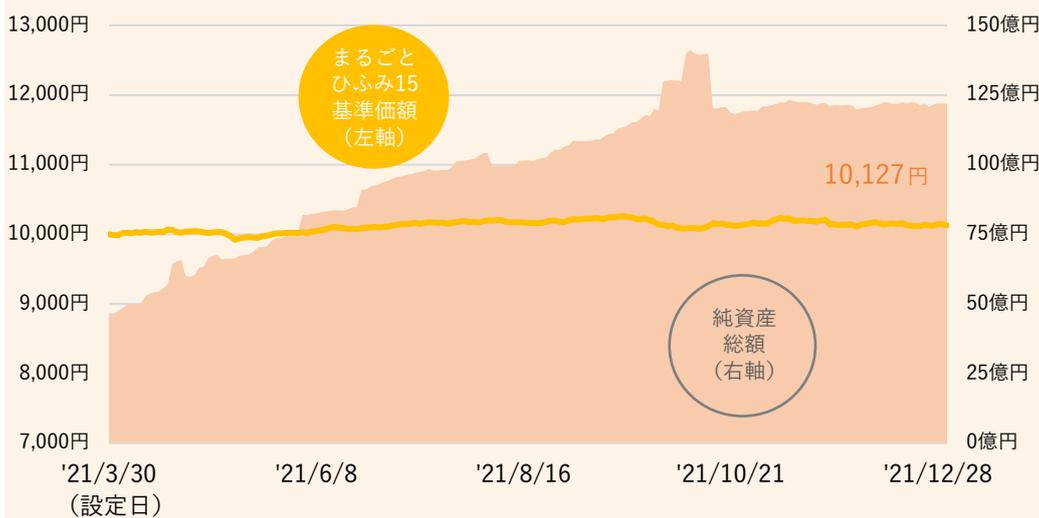


まるごとひふみ15

作成基準日：2021年12月30日

まるごとひふみ15 運用実績

基準価額等の推移（日次）



※「まるごとひふみ」は、「まるごとひふみ15」「まるごとひふみ50」「まるごとひふみ100」の3ファンドの総称です。

※基準価額は1万口あたりです。また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

※「まるごとひふみ15」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」85%、「ひふみ投信マザーファンド」9%、「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」6%を維持することを目指して運用を行ないます。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
まるごとひふみ15	-0.12%	-0.10%	0.15%	-	-	1.27%

まるごとひふみ15の運用状況

基準価額	10,127円
純資産総額	121.72億円

まるごとひふみ15投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	84.34%
ひふみ投信マザーファンド	9.03%
ひふみワールドファンド*	6.14%
現金等	0.49%
合計	100.00%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

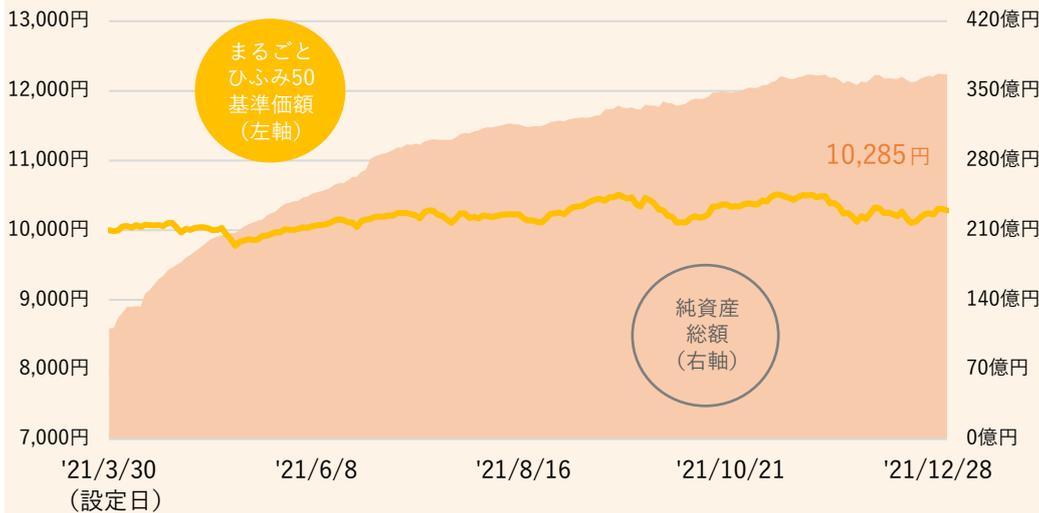
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計	0円	

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	-12円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみグローバル債券マザーファンド	-26円
ひふみ投信マザーファンド	+13円
ひふみワールドファンド*	+7円
信託報酬・その他	-5円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
債券	-30円
株式・投資証券	+11円
為替	+12円
信託報酬・その他	-5円



基準価額等の推移（日次）



運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
まるごとひふみ50	0.38%	0.00%	0.72%	-	-	2.85%

まるごとひふみ50の運用状況

基準価額	10,285円
純資産総額	366.48億円

まるごとひふみ50 投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	49.43%
ひふみ投信マザーファンド	29.56%
ひふみワールドファンド*	20.55%
現金等	0.46%
合計	100.00%

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

分配の推移（1万口当たり、税引前）

-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計	0円	

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	+39円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみグローバル債券マザーファンド	-15円
ひふみ投信マザーファンド	+42円
ひふみワールドファンド*	+21円
信託報酬・その他	-8円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
債券	-18円
株式・投資証券	+34円
為替	+31円
信託報酬・その他	-9円

※「まるごとひふみ50」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」50%、「ひふみ投信マザーファンド」30%、「ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）」20%を維持することを目指して運用を行ないます。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。



基準価額等の推移（日次）



運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
まるごとひふみ100	1.08%	0.04%	1.27%	-	-	4.76%

まるごとひふみ100の運用状況

基準価額	10,476円
純資産総額	532.17億円

まるごとひふみ100投資信託財産の構成

ひふみ投信マザーファンド	59.16%
ひふみワールドファンド*	40.37%
現金等	0.46%
合計	100.00%

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

分配の推移（1万口当たり、税引前）

-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計	0円	

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	+112円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみ投信マザーファンド	+86円
ひふみワールドファンド*	+37円
信託報酬・その他	-11円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
株式・投資証券	+65円
為替	+59円
信託報酬・その他	-12円

※「まるごとひふみ100」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみ投信マザーファンド」60%、「ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）」40%を維持することを旨として運用を行ないます。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

ひふみグローバル債券マザーファンド 運用状況

ひふみグローバル債券マザーファンドの状況	
純資産総額	313.65億円
組み入れ銘柄数	25銘柄

ポートフォリオ特性値	
最終利回り	0.77%
デュレーション	8.1

種別比率	
国債	59.39%
住宅ローン担保証券	6.20%
社債	4.20%
特殊債	3.50%
国際機関債	0.78%
現金等	25.94%
合計	100.00%

格付比率	
AAA	24.84%
AA	0.00%
A	41.27%
BBB	7.96%
BB以下	0.00%

組み入れ上位5通貨 比率	
1 日本円	30.41%
2 米ドル	23.79%
3 ユーロ	16.37%
4 中国元	3.50%
5 -	-

組み入れ上位5カ国 比率	
1 日本	30.41%
2 アメリカ	25.64%
3 イタリア	7.96%
4 スペイン	5.79%
5 中国	3.50%

為替ヘッジ比率
92.14%

組み入れ上位5銘柄 比率					
銘柄名	種類	国	通貨	償還日	組入比率
1 第364回利付国債（10年）	国債	日本	日本円	2031/9/20	17.59%
2 ITALY BUONI POLIENNALI DEL TESORO	国債	イタリア	ユーロ	2031/12/1	7.96%
3 US TREASURY N/B	国債	アメリカ	米ドル	2041/2/15	6.84%
4 第175回利付国債（20年）	国債	日本	日本円	2040/12/20	6.75%
5 SPAIN GOVERNMENT BOND	国債	スペイン	ユーロ	2031/10/31	5.79%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「ポートフォリオ特性値」は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものです。なお、債券先物を含めて計算しています。（Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成）
最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。値が大きいくほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「種別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。なお、ヘッジ目的で先物取引を利用する場合があります。

※格付は、ムーディーズおよびS&Pの格付のうち高いものを採用し、S&Pの格付形式で表示しています。

※「組み入れ上位5カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。また、国際機関等特定の国に分類しない場合があります。

※「格付比率」「組み入れ上位5通貨比率」「組み入れ上位5カ国比率」は、現物債券について表示しております。

※「為替ヘッジ比率」は、外貨建資産の時価総額に対する為替予約評価額の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

ひふみ投信マザーファンド 運用状況

ひふみ投信マザーファンドの状況

純資産総額	7,319.79億円
組み入れ銘柄数	289銘柄
資産配分比率	
国内株式	86.47%
海外株式	11.21%
海外投資証券	0.57%
現金等	1.75%
合計	100.00%

市場別比率

東証一部	80.06%
東証二部	1.41%
マザーズ	3.51%
JASDAQ	1.49%
その他海外株	11.77%
現金等	1.75%
合計	100.00%

組み入れ上位10業種 比率

1 情報・通信業	15.05%
2 電気機器	13.95%
3 サービス業	11.71%
4 化学	6.78%
5 機械	5.29%
6 卸売業	4.89%
7 輸送用機器	4.45%
8 精密機器	3.82%
9 建設業	3.49%
10 小売業	3.39%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10業種比率」は国内株式における上位業種を表示しています。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式、海外投資証券については「その他海外株」として表示しています。

※「組み入れ上位10銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型(3,000億円以上)

中小型(300億円以上,3,000億円未満)

超小型(300億円未満)

組み入れ上位10銘柄 比率

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	トヨタ自動車	7203	大型	東証一部	輸送用機器	2.12%
2	インターネットイニシアティブ	3774	大型	東証一部	情報・通信業	1.79%
3	MICROSOFT CORPORATION	MSFT	大型	NASDAQ	その他海外株	1.61%
4	デンソー	6902	大型	東証一部	輸送用機器	1.54%
5	東京海上ホールディングス	8766	大型	東証一部	保険業	1.33%
6	東京エレクトロン	8035	大型	東証一部	電気機器	1.22%
7	メルカリ	4385	大型	マザーズ	情報・通信業	1.20%
8	ソニーグループ	6758	大型	東証一部	電気機器	1.19%
9	ミライト・ホールディングス	1417	中小型	東証一部	建設業	1.15%
10	味の素	2802	大型	東証一部	食料品	1.15%

ひふみワールドファンド* 運用状況

純資産総額	299.36億円	投資信託財産の構成	
		ひふみワールドマザーファンド	99.71%
		現金等	0.29%
		合計	100.00%

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

※現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「資産配分比率」の株式には、新株予約権を含む場合があります。海外投資証券はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の国は、原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。

ひふみワールドマザーファンド 運用状況

ひふみワールドマザーファンドの状況		組み入れ上位10カ国 比率	
純資産総額	2,828.89億円	1 アメリカ	62.45%
組み入れ銘柄数	196銘柄	2 ドイツ	4.54%
資産配分比率		3 中国	2.96%
海外株式	88.56%	4 フランス	2.28%
海外投資証券	1.35%	5 オランダ	2.21%
現金等	10.09%	6 スウェーデン	1.95%
合計	100.00%	7 台湾	1.80%
		8 スイス	1.66%
		9 アイルランド	1.61%
		10 デンマーク	1.51%

組み入れ上位10業種 比率		組み入れ上位10通貨 比率	
1 ソフトウェア・サービス	13.31%	1 米ドル	68.88%
2 資本財	11.92%	2 ユーロ	8.74%
3 半導体・半導体製造装置	9.21%	3 香港ドル	2.20%
4 各種金融	8.13%	4 台湾ドル	1.80%
5 小売	5.34%	5 スイス・フラン	1.66%
6 メディア・娯楽	5.10%	6 イギリス・ポンド	1.54%
7 ヘルスケア機器・サービス	4.58%	7 デンマーク・クローネ	1.51%
8 自動車・自動車部品	4.27%	8 オーストラリア・ドル	1.03%
9 食品・飲料・タバコ	4.10%	9 中国元	0.99%
10 消費者サービス	3.41%	10 スウェーデン・クローナ	0.89%

組み入れ上位10銘柄 比率				
銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1 ACCENTURE PLC	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.61%
2 ALPHABET INC.	アメリカ	米ドル	メディア・娯楽	1.43%
3 SALESFORCE.COM, INC.	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.38%
4 CADENCE DESIGN SYSTEMS, INC.	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.30%
5 ADVANCED MICRO DEVICES, INC.	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.30%
6 TYSON FOODS, INC.	アメリカ	米ドル	食品・飲料・タバコ	1.20%
7 BROOKFIELD ASSET MANAGEMENT INC.	カナダ	米ドル	各種金融	1.18%
8 TETRA TECH, INC.	アメリカ	米ドル	商業・専門サービス	1.16%
9 SITEONE LANDSCAPE SUPPLY, INC.	アメリカ	米ドル	資本財	1.12%
10 TJX COMPANIES INC	アメリカ	米ドル	小売	1.12%

ひふみグローバル債券マザーファンド 基準価額の推移（日次）



ひふみグローバル債券マザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	まるごとひふみ設定来
	-0.31%	-0.09%	0.12%	-	-	0.96%

ひふみ投信マザーファンド 基準価額の推移（日次）



ひふみ投信マザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	まるごとひふみ設定来
	1.40%	-3.88%	-0.59%	-	-	-0.79%

ひふみワールドマザーファンド 基準価額の推移（日次）



ひふみワールドマザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	まるごとひふみ設定来
	0.89%	7.01%	5.61%	-	-	17.23%

※「まるごとひふみ」が直接または間接的に投資している各投資信託証券の基準価額の推移と運用成績を、「まるごとひふみ」の当初設定日の前営業日（2021年3月29日）を10,000として指数化して作成、算出しております。

※運用成績は小数点第三位を四捨五入して表示しています。「まるごとひふみ設定来」は、「まるごとひふみ」の設定日の前営業日（2021年3月29日）（「ひふみグローバル債券マザーファンド」は当初設定時）を起点として算出しております。

※「まるごとひふみ100」は、「ひふみグローバル債券マザーファンド」は組み入れていません。

※「まるごとひふみ」の投資対象ファンドの一つである「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」は、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れていません。ここでは、「ひふみワールドマザーファンド」の基準価額の推移と運用成績を記載しております。

運用責任者よりお客様へ：まるごとひふみ

まるごとひふみ15は、ファンドに組み入れている「ひふみグローバル債券マザーファンド」の下落がマイナスに影響し、前月末に比べて、基準価額は0.12%下落しました。

まるごとひふみ50は、ファンドに組み入れている「ひふみグローバル債券マザーファンド」の下落がマイナスに影響したものの、「ひふみ投信マザーファンド」および「ひふみワールドファンド」の上昇がプラスに寄与し、前月末に比べて、基準価額は0.38%上昇しました。

まるごとひふみ100は、ファンドに組み入れている「ひふみ投信マザーファンド」および「ひふみワールドファンド」の上昇がプラスに寄与し、前月末に比べて、基準価額は1.08%上昇しました。

【ひふみ投信マザーファンド】

新型コロナウイルス・オミクロン株について重症化やワクチン無効化に対する警戒感が和らぐなか、日本の株式市場は上昇し、基準価額は1.40%上昇しました。なお、同期間における参考指標であるTOPIX（東証株価指数、配当込み）は3.45%上昇しています。

【ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）】

オミクロン株に対する警戒感が和らぐなか、世界の株式市場は上昇し、基準価額は0.89%（ひふみワールドマザーファンドは0.89%）上昇しました。

【ひふみグローバル債券マザーファンド】

米国で量的緩和の縮小（テーパリング）が決定され利上げや量的引き締めがそれまでの想定よりも早く進むとの見方も強まるなか、債券市場はやや変動の大きい展開となり、基準価額は0.31%下落しました。

引き続き、各投資対象ファンドの基本資産配分比率を維持するように運用します。今後ともまるごとひふみをよろしく願います。



まるごとひふみ
ファンドマネージャー

岡田 泰輔

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社東京証券取引所が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、東証市場第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とします。TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

運用責任者よりお客様へ：ひふみグローバル債券マザーファンド

12月の米債券市場はやや変動の大きい状態が続き、月末にかけて金利が小幅に上昇しました（10年金利1.44%→1.51%）。注目されたFOMC（米連邦公開市場委員会）では予想通りテーパリングの加速が決定され、早ければテーパリングが終了する3月にも利上げが可能になります。3か月毎に発表されるFOMCメンバーの短期金利予想では、2022年末に3回利上げ（25bp x 3）が中央値になりました。6月時点では0.5回でしたので明確にタカ派にシフトしていることがうかがえます。マーケットも月末にかけて2022年内3回の利上げを織り込みました。また、FRB（米連邦準備制度理事会）のパウエル議長はQT（FRBのバランスシート縮小）に関する判断も前進させました。債券需給の悪化となる一方で実体経済へのネガティブな影響も想定され、金利上昇要因となるかは議論が分かれます。中短期債の金利は上昇したものの十分ではなく、超長期ゾーンにバリュエーションがあると考えています。

欧州債も金利上昇となりましたが、インフレリスクにより反発し始めたという程度でアンダーウェイトしています。また、先月より為替ヘッジなしの中国の元建て債券の組み入れを開始しており、12月も組入比率を増加させています。

我々の債券ファンドでは、株式との逆相関性と収益性を両立するポートフォリオをアクティブに追求することで、バランスファンドを通じた皆様の資産運用に貢献したいと考えています。まるごとひふみを2022年もどうぞよろしく願います。



ひふみグローバル債券
マザーファンド
ファンドマネージャー

福室 光生

運用責任者よりお客様へ：ひふみ投信マザーファンド

あけましておめでとうございます。昨年は、皆様に支えられ調査運用活動に全力を尽くすことができましたこと、心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2021年12月の相場は大型株優位となり、TOPIXが3.3%、日経平均株価が3.5%上昇であった一方、マザーズ指数は7.8%の下落、ひふみ投信マザーファンドは1.40%の上昇でした。まるで個別株を彷彿とさせるパフォーマンスをマザーズ指数が叩き出し、「金利上昇から評価の高い銘柄が集まるマザーズが売られた」という説明が正しく感じられるような展開となりました。2022年4月に東証の再編を控えているため、機関投資家からの買いが入りにくく、さらに個人投資家の買い意欲も小さかったことが要因と言えるでしょう。高い可能性で「需給要因」だった、という説明の方が金利上昇云々よりも納得感があります。

また、相変わらずインフレが意識されつつ、米国金融政策の転換とオミクロン株登場でコロナ禍延長と、マクロ情報のどれを見ても不安ではあります。しかし、米国株式市場が年末特有の強さをみせたことで、日本株の主要指数は景気敏感株を中心に強かったと言えます。

2022年は日本もアメリカも選挙があります。選挙を経て相場展開が変わることも多くあるため、その先行きを読みつつ、全力で調査運用活動に従事し、虎視眈々と次の相場の主役をポートフォリオへ組み込んでいきたいと考えています。引き続きまるごとひふみをどうぞよろしくお願いいたします。



ひふみ投信マザーファンド
ファンドマネージャー
藤野 英人

※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

※東証マザーズ指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

運用責任者よりお客様へ：ひふみワールドマザーファンド

2021年12月は、新型コロナウイルス・オミクロン変異株の出現とその感染者急増により経済活動の制限強化が再び懸念され、世界の株式市場は下落しました。しかし、その後ウィズコロナ環境で経済活動が継続されることへの期待と、新種ウイルスへの各国対応方法等が明確化するにつれ投資家は安心感を取り戻し、月末にかけてもち直す展開でした。市場は厳しい行動制限措置への懸念と、経済活動継続への期待との綱引きとなりましたが、オミクロン株が強感染力ながら低病原性であるとの特徴が伝わり徐々に安定化しました。

欧州市場も米国市場と同じ展開となり、ウィズコロナの道を明確にする欧米各国の感染者および死者数の動向と、病床がひっ迫化した場合への対応に注目しています。

米国FOMC（連邦公開市場委員会）はテーパリングとその後の利上げへの大まかな道筋を示し、次回1月27日のFOMCで今後の利上げ開始時期やそのスピードなどが示唆されると思われます。インフレ上昇率を抑えるための施策が2022年当面の課題であり、委員らによる発言などにより市場は乱高下する可能性があります。

2022年も運用本部一同で調査・運用に全力を尽くしてまいります。引き続きまるごとひふみをよろしくお願いいたします。



ひふみワールドマザーファンド
ファンドマネージャー
湯浅 光裕



コロナ禍で際立つ米強気相場、先行きが焦点 収益拡大と実質マイナス金利支えに米株高継続へ

コロナ禍のパンデミックが始まった2020年初頭から約2年が経過しました。この間、世界の株式市場は、米国の強気相場が際立ちました。今後の世界市場を占う上で、米強気相場の継続性が焦点になりそうですが、結論を先取りするならば継続の可能性が高く、世界株は総じて明るいと思います。米強気相場の主因は大規模な財政・金融緩和政策を原動力に米国経済・企業収益が2020年半ば以降急回復し、拡大基調を辿ったこと、さらに長期金利が相対的に低位で推移し、実質長期金利が大幅なマイナスになったことが挙げられます。今年はこれらが微妙に変化しそうですし、新たな懸念材料が注目されます。

特に5点に注目しています。第1は米国の経済政策においてこれまでの非常時対策が正常化に向かう点です。メインシナリオは財政面からの経済刺激効果は過去2年間に比べて大幅に圧縮されますが、経済再開が進み、消費者の所得改善（+過剰貯蓄の取り崩し）が進み、消費堅調を予想します。加えて、企業は供給制約解消のための設備投資や在庫投資の積極化も予想されます。米国の経済成長率は、V字回復の2021年>今年2022年>潜在成長率（巡航速度）といった大小関係を予想します。金融政策面では、高いインフレ率を主因にFRB（連邦準備理事会）は、資産買取りを2022年3月に終了と同時に利上げフェーズに入り、市場想定を上回るペースで利上げを行なう可能性があります。米10年国債利回りがどのように反応するかですが、2%かそれ以上まで一気に上昇するのは株価下落要因になるとみられます。ただし、金利上昇や株安が進むと、先行きの米国景気の鈍化・減速を織り込む形で、どこかの局面で米10年国債利回りは低下に転じ、株価も回復・安定化に向かうでしょう。過度な引き締めは回避され、実質マイナス金利は続くでしょう。

第2は2021年春先以降のインフレ圧力です。潮目の変化はいつ頃かが注目です。物価高の主因は、油価など化石燃料高、供給制約・目詰まり、経済再開・人手不足などの複合要因ですが、先進国では米国が際立ち、グリーンフレーション（脱炭素政策に起因する物価高）や、コロナ（バイデン）インフレとの見方があります。コロナ禍と経済再開（刺激策）による需要の急減・急増、一方で供給制約の長期化によって、2021年は需要超過・供給不足が顕著になり、物価高に拍車をかけましたが、徐々に解消に向かうと推察します。注目の原油高はエネルギー需要期の冬場や消費需要が盛り上がる春節を経過する頃が節目になる可能性があります。第3はオミクロン株の行方です。欧米など多くの国では新型コロナ症例がデルタ株からオミクロン株に置換し、オミクロン株が激増しています。ただし、世界全体の死亡者数はむしろ低下基調となり、重症化リスクは低いようです。市場での織り込みは進んでいると考えます。第4は米中関係です。両国が秋に重大な政治イベントを控えてお互い妥協の余地が狭まり、ブロック化の様相が強まりそうですが、逆に大きな実害は避けるでしょう。第5はウクライナや台湾などを巡る地政学リスクです。発生すればリスク回避で株安でしょうが、買い好機との見方も出てくるでしょう。

一方、電気自動車（EV）、5Gの実用化、IoT、仮想現実（VR）、人工知能など技術革新の大波が押し寄せていますし、SDGs(持続可能社会)のための省エネ、再生可能エネルギー投資の活発化など、長期的な躍動の動きが強まっています。米国をはじめ主要国株式市場にとっては大きな支援材料になりそうです。なお、2021年に出遅れが目立った日本株ですが、今年は景況感の改善を支えにキャッチアップ相場が期待されます。

(1月5日)

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

2022年が始まりましたが、今年注目している業界や出来事等は何でしょうか。



Fujino Hideto
藤野 英人
代表取締役会長兼社長
最高投資責任者

企業活動というのはお客様に喜んでもらい健全な利益を獲得していることであるけれども、その中で、社員や社会や株主などの幸福度をどう高めていくのか、いわゆるウェルビーイングについて深く考えていきたいと思っています。



Yuasa Mitsuhiro
湯浅 光裕
代表取締役副社長
未来戦略部長

トヨタ自動車の本格参入でBEV向け充電インフラ整備と、水素、efuelなど低Co2排出エネルギー開発などに注目しています。また、米中対立の行方や気候変動への各国対応にも注目しています。



Watanabe Shota
渡邊 庄太
運用本部長
株式戦略部長
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

内外ともイベントは引き続き数多ありますが、そのなかでも夏の参院選に注目しています。岸田内閣は足下まで高い支持率を維持していますが、本格的な長期政権足りうる基盤を確保し、投資家に評価されるような政策の実現につながることを願っています。



Yatsuo Hisashi
八尾 尚志
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

インフレの各産業・企業への影響、コロナ禍で加速したDX投資や事業モデル変化など各企業の対応力、また働く人のウェルビーイングへの意識の高まり等々、パンデミックの終息がもたらすグローバルレベルでの新たなイノベーションの萌芽に期待しています。
プライベートではそういう大きなテーマとは全く関係なく自宅の「積読山」を制覇できるのかが最大のポイントです笑



Sasaki Yasuto
佐々木 靖人
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

22年、経済的には年前半でインフレが収束するかが争点となり、後半は選挙色が強くなるイメージを持っています。主に政治的にポイントとなる月は2月、7月、10月、そして11月でしょうか。2月は北京オリンピックと米大統領の一般教書演説、7月は参議院選挙、10月はG20首脳会議、11月は米中間選挙があります。



Wei Shanshan
韋 珊珊
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

不確実性を伴う環境下で、比較的に業績成長の確度が高い領域に注目しています。例えばグリーンや自動化、また一部の消費企業など、中長期的に成長していけるところの調査を深めていきたいです。勿論、金融引締め方向の中、バリュエーションもより考慮しないといけないと思います。

運用メンバーからのメッセージ



Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

パンデミックの行く末と輸送・宿泊産業ですね。ただ自分が自由に旅行をできるようになりたいというだけでなく、国内のみならず国境をまたぐ人々の往来が通常に戻り、豊かな文化的交流が再度もたらされることを期待しています。



Ono Shotaro
小野 頌太郎
シニア・アナリスト

コロナ禍で業績を大きく伸ばした会社に改めて注目したいと思います。経済リオープニングが意識され昨年から株価的に調子の悪い会社は多いですが、一方でこれからも沢山使う便利な製品、サービスを提供している会社があるのも確かです。会社の実力と評価のバランスを見極めていきたいと思います。



Senoh Masanao
妹尾 昌直
シニア・アナリスト

米中間選挙、中国共産党大会、日本の参院選。3年目のコロナ禍。投資では、金利上昇局面での新興国市場の動向。コロナ禍を経験した事により政治経済システムや人の考え方が、仮にコロナ禍が収束しても、元に戻らずに、それまでとは異なるものが定着していく可能性もあるので、歴史に学びつつも引きずられることなく、想像/妄想力がより試される年になっていきそうだと感じてます。



Oshiro Shintaro
大城 真太郎
シニア・アナリスト

再エネ技術の動向です。各技術の実現性やスケール感、時間軸について、去年より見えてくる部分は格段に多くなるかと思しますので、マクロ（政策）視点・ミクロ（企業）視点で動向を注視して投資機会を捉えたいです。



Tada Kensuke
多田 憲介
アナリスト

特定の業界やテーマに固執するのではなく、バイアスを持たずに成長・株価リターンが見込まれる企業を探していきたいです。毎年のことではありますが、しっかり結果にこだわり調査していきたいです。

運用メンバーからのメッセージ



Fukumuro Mitsuo
福室 光生
債券戦略部長
シニア・ファンドマネジャー

市場関係者からは批判の多い岸田総理ですが、評価したいのは朝令暮改というか意見を直ぐに変えること。まわりの意見を聞いて一度決めたことに拘らない姿勢は素晴らしいと感じます。注目しているのは黒田日銀がこれを見てどう反応するかです。期待も込めて。



Okada Taisuke
岡田 泰輔
未来戦略部
シニア・ファンドマネジャー

先進国のハイイールド債市場の動向に注目しています。ハイイールド債のスプレッドは、景気や企業業績の悪化に対していち早く警鐘を鳴らす指標として「炭鉱のカナリア」とも呼ばれています。今年はインフレと主要中央銀行の動向に注目が集まりますが、金融政策が適切なものかどうか判断するための一つの手がかりになると見えています。



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

過去2年間、米強気相場が際立ちましたが、その行方がカギだと思えます。米国は財政・金融政策の正常化や物価高、コロナの行方が注目されます。加えて、米中が重大な政治イベントを控えてお互い妥協の余地が狭まり、ブロック化の様相が強まりそうですし、地政学リスクにも目が離せません。一方、技術革新の大波が最大の好材料でしょうね。



Hashimoto Yuichi
橋本 裕一
マーケットエコノミスト

日本株の売買動向は注目していきます。昨年最も日本株を買い越した主体は事業法人（自社株買い）です。岸田政権の政策次第では自社株買いのアクションは抑制されるリスクがあります。また日銀不在、金融機関は政策保有株の売りを続けるなか、最大の投資主体である海外投資家が日本株を見直す契機が発生するか注視します。

まるごとひふみの特色

まるごとひふみ15、まるごとひふみ50

投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

まるごとひふみ100

投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

1. 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。

まるごとひふみ15、まるごとひふみ50

実質的に株式と債券に分散投資を行なうことで、基準価額の変動幅をおさえ、信託財産の中長期的な成長を目指します。

まるごとひふみ100

実質的に国内株式と海外株式に分散投資を行なうことで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

2. 資産配分比率が一定の比率となることを目指して運用を行ないます。

資産の実質的な保有比率が概ね以下の比率となるように、投資対象ファンド（ひふみ投信マザーファンド、ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）、ひふみグローバル債券マザーファンド）の基本配分比率を調整します。

まるごとひふみ15 原則、株式約15%、債券約85%

まるごとひふみ50 原則、株式約50%、債券約50%

まるごとひふみ100 原則、株式約100% ※まるごとひふみ100は、ひふみグローバル債券マザーファンドには投資を行ないません。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- 投資信託証券への投資を通じて株式や債券など値動きのある証券（外国の証券には為替変動リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、投資対象とする投資信託証券においては組入有価証券を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	投資対象とする投資信託証券において外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

お申込メモ

商品分類	まるごとひふみ15、まるごとひふみ50 追加型投信／内外／資産複合 まるごとひふみ100 追加型投信／内外／株式
設定日	2021年3月30日
信託期間	無期限
決算日	毎年4月15日（休業日の場合、翌営業日）
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行ないます。
購入単位	販売会社が定める単位となります。なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。
換金（解約）単位	販売会社が定める単位となります。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）
換金代金	換金申込受付日から起算して6営業日目から、販売会社の本・支店等においてお支払いいたします。
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。（申込受付不可日は除きます。）ただし、販売会社によって受付時間が異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等をする事や、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

ひふみアカデミー（月次運用報告会）のご案内

毎月、運用についてご報告するとともに、今後の経済や株式相場などの見通しについてご説明している「ひふみアカデミー」。運用メンバーより、動画配信にてご報告しております。

運用状況の他、経済環境や株式市場、経済見通しを知りたい方にもおすすめのセミナーです。

YouTube動画セミナー「ひふみアカデミー」

https://www.youtube.com/playlist?list=PLkwGm3S_g8S2ze4qSie9yAjrJidz3_7t



お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用

申込手数料：**3.30% (税抜3.00%) を上限**として、販売会社が定める料率とします。

「自動けいぞく投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。

信託財産留保額：ありません。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の日々の純資産総額に対して 下記に記載の信託報酬率 を乗じて得た額 信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。 日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または 信託終了のときファンドの信託財産から支払われます。			
	運用管理費用の配分			
		まるごとひふみ15	まるごとひふみ50	まるごとひふみ100
	信託報酬率	年率 0.660% (税抜年率 0.600%)	年率 0.935% (税抜年率 0.850%)	年率 1.320% (税抜年率 1.200%)
支払 先 (税 抜 の 配 分)	委託会社	年率0.290%	年率0.415%	年率0.590%
	販売会社	年率0.290%	年率0.415%	年率0.590%
	受託会社	年率0.020%	年率0.020%	年率0.020%
※上記各支払先への配分には、別途消費税等相当額がかかります。				
投資対象と する投資 信託証券	投資対象ファンドにおける運用管理費用 純資産総額に対して以下の率を乗じて得た額			
		まるごとひふみ15	まるごとひふみ50	まるごとひふみ100
	ひふみワールドファンドFOFs用 (適格機関投資家専用)	年率0.00264% (税抜年率0.00240%)	年率0.0088% (税抜年率0.0080%)	年率0.0176% (税抜年率0.0160%)
※ 上記は投資対象ファンドを基本の組入比率に従って組み入れた場合の運用管理費用（信託報酬）です。この値は目安であり 実際の組入状況により変動します。 ※ 「ひふみ投信マザーファンド」「ひふみグローバル債券マザーファンド」は、運用管理費用（信託報酬）がかかりません。				
実質的な 負担	純資産総額に対して以下の率を乗じて得た額			
	まるごとひふみ15	まるごとひふみ50	まるごとひふみ100	
	年率 0.66264%程度 (税抜年率 0.60240%程度)	年率 0.9438%程度 (税抜年率 0.8580%程度)	年率 1.3376%程度 (税抜年率 1.2160%程度)	
※ 基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬 率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資 対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。				
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税抜年率0.0050%）を乗じて得た額（なお、上限を年間99万円 （税抜年間90万円）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。）。 日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。			
その他費用・ 手数料	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸 費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、 予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。			

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社：三井住友信託銀行株式会社
販売会社：後述の「販売会社」でご確認いただけます

当ファンドや販売会社についての照会先



レオス・キャピタルワークス株式会社
電話：03-6266-0129
受付時間：営業日の9時～17時
ウェブサイト：<https://www.rheos.jp/>

販売会社（銀行）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ15

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第3号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第1号	○		○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社仙台銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第14号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第40号	○			
株式会社八十二銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第49号	○		○	
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第10号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関 北陸財務局長（登金）第3号	○		○	

まるごとひふみ50

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第3号	○			
株式会社大分銀行	登録金融機関 九州財務局長（登金）第1号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第1号	○		○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社仙台銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第14号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第40号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第18号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関 北陸財務局長（登金）第3号	○		○	

販売会社（銀行）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ100

金融商品取引業者名	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第18号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	

販売会社（証券会社・その他金融機関）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ15

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券 業協会	一般社団 法人日本 投資顧問 業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	一般社団 法人第二 種金融商 品取引業 協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第35号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第8号	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第191号	○			
株式会社CONNECT	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3186号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
tsumiki証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号	○			
広島信用金庫	登録金融機関 中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

まるごとひふみ50

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券 業協会	一般社団 法人日本 投資顧問 業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	一般社団 法人第二 種金融商 品取引業 協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第35号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第8号	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第191号	○			
株式会社CONNECT	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3186号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長（金商）第36号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号	○			
広島信用金庫	登録金融機関 中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

販売会社（証券会社・その他金融機関）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ100

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券 業協会	一般社団 法人日本 投資顧問 業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	一般社団 法人第二 種金融商 品取引業 協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第35号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第8号	○		○	
おかやま信用金庫	登録金融機関 中国財務局長（登金）第19号	○			
株式会社CONNECT	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3186号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
長野證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第125号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第20号	○			
広島信用金庫	登録金融機関 中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○